



かがわのヒノキ



香川県産ヒノキの強度試験を実施しました

香川県産のヒノキの強さを、実際の重ね梁を使って試験したところ、建築に使える十分な強度を持っていることがわかりました。



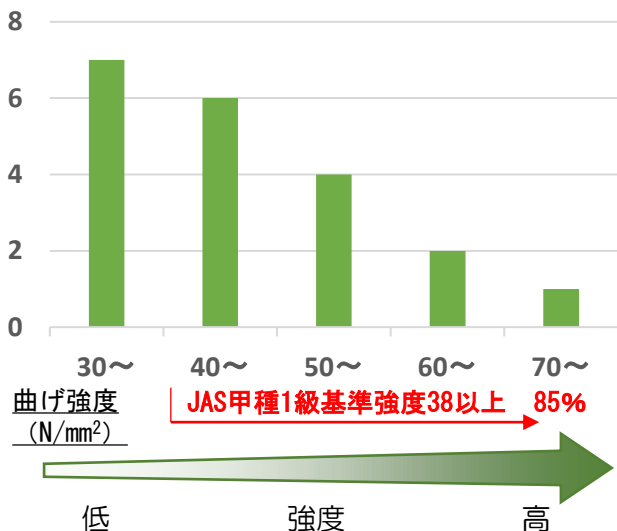
<試験結果> (試験体数 重ね梁 20)

内 容	単 位	重ね梁※1 (210mm × 105mm × 4m)		
		平均	下限	上限
曲げ強度	N/mm ²	47.3	34.1	70.2
曲げヤング係数※2	kN/mm ²	10.77	8.77	12.19
最大荷重	kN	50.0	35.9	74.3
含水率	%	12.4	8.3	15.9

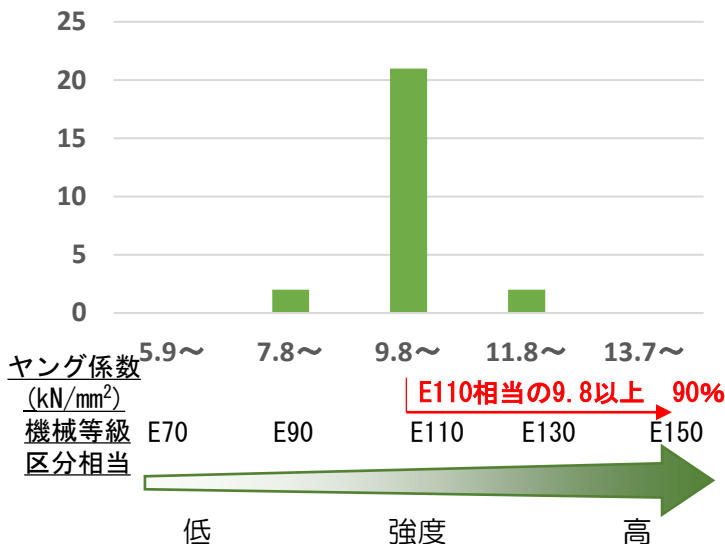
※1 重ね梁：柱の大きさの角材を2本～3本接着したもので、梁や桁などの厚みの必要な部材として使うことができます。

※2 ヤング係数：変形しにくさを表す係数で、数字が大きいほど強度が高いと考えることができます。

<香川県産ヒノキの曲げ強度出現頻度>



<香川県産ヒノキ曲げヤング係数出現頻度>



曲げ強度・・・JAS甲種1級の基準強度38N/mm²以上が85%を占めました。

曲げヤング係数・・・JAS機械等級※3のE110以上に相当する9.8kN/mm²以上が90%を占めました。

※3 JAS規格の木材の強さの区分で、数値が大きくなるほど強い等級になります。